

JMDC レセプトデータを用いた薬剤疫学研究：  
緑内障治療薬としてのプロスタグランジン製剤による喘息リスク

緑内障の薬剤治療としては局所点眼薬を用いることが一般的であり、その作用機序に応じて様々な種類がある。そのうち、 $\beta$ 遮断薬およびプロスタグランジン製剤について喘息リスク上昇との関連シグナルを示す研究が存在するものの、未だそれらの関連の有無は確かなものとなっていない。

本研究ではJMDC社のレセプトデータを用い、薬剤疫学の立場からプロスタグランジン製剤と喘息リスクの関連の有無を明らかにしたいと考えている。

今回の発表では研究に使用するJMDCレセプトデータと緑内障の概要を示し、現在までの進行状況とこれからの研究計画を述べる。